

2×4 + CLT による立面混構造の設計法検討委員会（国交省国総研・林野庁・
2×4 協会・CLT 協会・住木センター）検証済みプログラム
2×4 壁式3 + CLT 混構造プログラム発売準備中（国内唯一）

特徴 3種類の構造計算が可能 1式のソフトにて対応

1. 2×4 構造のみの解析 6階建てまで可能ルート1・2・3
2. 2×4 + CLT 下層2階まで耐力壁のみ CLT + 上層4階2×4の6階までルート2・3
3. 2×4 + WRC 地下1層 + 下層3階まで WRC 上層4階2×4の7階までルート2・3

2025年建築基準法改正により、耐火基準と混構造基準が改正されました。耐火基準は上層より5階～9階迄が1.5時間となりました。混構造の剛性率も剛性が20倍以上で各々の階で0.6を満たせば割り増しをしなくてよくなりました。

*4階建て以上の建築物は一級構造士の関与が必要となります。新ルート2にて確認の場合、建築主事にて、確認申請が可能です。ルート3は適判の確認申請が必要となります

2×4 + CLT 純木造混構造のメリット

1. 純木造のため、償却年数が24年と短く、耐震性に優れている。
2. 純木造のため、CO2削減や脱炭素政策に貢献可能な工法である。
3. パネル工法のため工期が非常に短く、建築費が安価である。
4. 木造のため重量が軽いため基礎が安価で済む。
5. 高層木造の施工により、企業イメージの向上が図れる。
6. 他工法に比べて、工期が短く、工費が安価である。
7. CLT が強い耐力のため、大空間の設計が可能になります。

2×4 + WRC のメリット

1. 地下の設計が可能、ドライエリア・土圧・水圧の設計が可能。
2. 地上3階迄 WRC が可能、水害対策に有効である。
3. 耐震性に優れている。
4. RC 造で施工がしやすい。

2×4 構造のみの解析

1. 6階建てまでの2×4建築物の解析が可能です。実際には4階建てまでとなります
2. 平面斜め・セットバックの解析が可能です。
3. オプションとして、構造図 CAD・構造概要計算書・屋根トラス・地下室の設計・省エネルギーの設計
アーキトレンドのデータ互換・等オプションが豊富です。